

管内護持会集會

—東電福島第一原発—

七月七日、今年は管区集會の無い年ですので、第二宗務所単独での開催で行いました。教区長・護持会長・宗務所役職員の参加で、東京電力福島第一原発の廃炉作業を視察して参りました。

ここは、昨年の管区人権啓発研修会で宗務所職員が参加し研修してきた所で、今年是非護持会の研修でも広めたいとの思いで決めた場所でした。バスの中では語り部の方から、被災時の話や現況などでの苦勞話をお聞きました。



福島県富岡町の廃炉資料館にて



作業員の為の構内にある大型休憩所



汚水タンクの下の漏れ防止の為の堰



1号機建屋。水素爆発の生々しい跡



第2班



第1班

原発構内では二班に分かれ、線量計を付け、厳重な警戒のもとで見学しました。あれから十年も経ち作業員の環境もだいぶ安全を確保されてきているとのことでした。

全国人権主事研修会

—宗務庁にて—

九月七日～八日、この期の人権主事としては最後になる研修会が宗務庁にて開催されました。コロナの為に、最初の年だけが通常で開催され、あとは中止となっていた研修会でしたが、最後になるこの研修会は、オンラインでもしくは本庁での対面の研修かどちらかを選択しての開催となり、私は対面の研修を選び参加しました。

管区での分散会のまとめ、人権についての講演、人権本部規定一部変更等についての内容でした。

* * *

平成三十年の十二月からの四年間でしたが、三年間は障害者の差別の禁止や合理的配慮についてなどを学習しました。最後の年は、東日本大震災から十年が過ぎ、今までのことと現状、そしてこれからに向けてどう考えるのか、被災地や被災者の観点で見る人権学習が学習教材として本部から提供されました。次年度は十三回忌に当たり続編の教材が提供予定です。

四月十二日(火)

笑顔があふれる 梅花流第五十回奉詠大会

「久しぶり!」「元気だった!」会場のあちらこちらから久しぶりに会った梅花の友との再会を喜び声が聞こえてきました。三年ぶりの奉詠大会に心が弾みます。やっと!奉詠大会が開催されました。講員さん達の大舞台です。感染対策に万全を尽くして下さいましたスタッフの皆様にも感謝申し上げます。梅研の皆様にも盛り上げて頂きました。



十月十二日(火)・二十六日(水)
十一月三十日(水)

追善供養御和讃講習会

素晴らしい詠讃歌の魅力を少しでも多くの僧侶に知っていただきたく、追善供養御和讃にしようとの講習会を行いました。参加された方は志のある方ばかりでしたので、驚くほど上達が早く、質問もたくさん出まして、とても楽しい充実した講習会になりました。一回の講習だけで「今日早速法事で唱えてきた」という和尚様もいらっしゃいました。



令和四年度

梅花事業

四月十二日(火)

梅花流第五十回奉詠大会

於 高畠町文化ホール

「まほろ」

一三五名参加

六月八日(水)

宗務所梅花役職員会

於 タスパークホテル

九名出席

六月十四日(火)午前

梅花流特派宗務所講習会

師範講習

於 長井市「はぎ苑」

七名受講

六月十四日(火)午後

梅花流特派宗務所講習会

宗侶・寺族(初めての方)

講習

於 長井市「はぎ苑」

八名受講

梅花流特派 宗務所講習会 梅花の火を灯す

新型コロナウイルス感染症拡大がおさまる気配がない中で、大勢で声を発する梅花の特性上通常通り各ご寺院を巡回する事は危険を伴い、ご寺院様、ご家族様にかなりのご負担をおかけしてしまうと考えました。

しかし、中止にしてしまうと梅花に対する熱が冷めてしまう恐れがあります。

そこで、今年は指導者がじっくりと研鑽をつみ、各自がレベルアップして、いい講習ができるようにと僧侶と寺族にしぼっての講習会を企画しました。

さらに新しい試みとしてこれから梅花を始める方の為の講習会を行いました。これは、昨年惜しまれつつご遷化された第十教区長 長澤昭義老師の梅花に対する熱意にお応えしたものです。

詠範向け講習

6月15日(水) 師範向け講習

6月14日(火)午前



宗侶・寺族（初めての方）向け講習

6月14日(火)午後

講師は遊佐町長泉院御住職 石川茂穂特派師範老師です。



十二月
梅花流第五十回奉詠大会
記念誌発刊

十二月九日(金)
梅花流特設検定会
於 むさしセレモニー
置賜ホール
三十二名受検

十月 十二日(火)
十月二十六日(水)
十一月三十日(水)
追善供養御和讃講習会
於 アイメモリー米沢
七名受講

梅花流第五十回奉詠大会記
念誌 編集委員会
六月二十二日(水)
八月二十四日(水)
九月 十六日(金)
九月二十八日(水)
十月二十六日(水)

六月十五日(水)
梅花流特派宗務所講習会
詠範講習
於 長井市「はぎ苑」
十一名受講

特設検定会合格者

十二月九日(金)



●三級教範合格者

五教区 蔵高院 山口 美智子

●権中教導合格者

二教区 網正寺 南條 和子

●大教導合格者

五教区 蔵高院 安彦 和子

二教区 網正寺 佐藤 恵子

●権大教導合格者

二教区 慶雲寺 沖田 文子

●正教導合格者

五教区 洞松寺 椎名 隆

二教区 慶雲寺 川合 正子

二教区 慶雲寺 高橋 美佐子

●権正教導合格者

二教区 慶雲寺 伊藤 ひろ子

三教区 宝昌寺 村岡 紀恵子

五教区 瑞岩寺 樋口 多喜子

三教区 宝昌寺 佐藤 千秋

五教区 瑞岩寺 須貝 良子

●中教導合格者

一教区 東泉院 安藤 貞子

●教導合格者

一教区 自性院 數馬 美幸

二教区 東泉院 金子 八重

二教区 慶雲寺 川合 琴

二教区 網正寺 鈴木 みえ子

三教区 永松寺 平田 あや子

二教区 網正寺 竹田 里美

三教区 永松寺 石田 裕子

二教区 網正寺 須貝 ひさ子

三教区 宝昌寺 安部 弘子

二教区 綱正寺 小林 玉子

三教区 宝昌寺 安部 弘子

二教区 慶雲寺 川合 清江

三教区 宝昌寺 安部 弘子



▲会場 むさしセシモノ一置賜ホール

管内の動き

(令和三年一月一日から令和四年一月三十一日までの出来事を掲載 ※敬称略)

◎晋山結制

- ③高徳寺 奥山 雅廣
令和四年 夏前安居(初会)
- ①盛興院 岸 順一
令和四年 冬前安居(初会)

◎住職任命

- ①東泉院 石龍 克道
令和四年 三月 二日
- ③玉林寺 鈴木 孝章
令和四年 九月 一日
- ⑤全龍院 山川 昌孝
令和四年 九月 一日
- ⑨輪王寺 長谷川泰彦
令和四年 一月三〇日

◎兼務住職任命 ()内は本務寺

- ⑩高福寺 村田 恒生(長慶寺)
令和三年一月二日 四日
- ①慶福寺 西山 啓志(高国寺)
令和四年 一月一七日
- ⑥長泉寺 金原 良介(寶昌寺)
令和四年 三月二八日
- ⑥観音寺 山岸 弘道(正法寺)
令和四年 三月二八日
- ⑥小川寺 笹川 憲彰(源居寺)
令和四年 三月二八日
- ⑥根澤寺 楠 賢道(吉祥寺)
令和四年 六月三〇日

◎濟廣寺 楠 賢道(吉祥寺)

- ⑧濟廣寺 楠 賢道(吉祥寺)
令和四年 六月三十日
- ⑩玉泉寺 山口 卓道(館山寺)
令和四年 六月三〇日
- ⑨正泉寺 對間 隆法(茂林寺)
令和四年 七月 四日

◎白川寺 梅津 光雄(大福寺)

- ⑥白川寺 梅津 光雄(大福寺)
令和四年 七月二七日
- ⑨耕澤寺 今成 幸裕(昌傳庵)
令和四年 八月三十一日
- ⑤岡應寺 菊地 豊宗(瑞岩寺)
令和四年 一月一八日

◎教師補任(昇等補任含む)

- ⑨林泉寺 菊池 道喜 権大教師
令和四年 一〇月 三日
- ③千眼寺 鈴木 大智 二等教師
令和四年 二月一六日
- ⑤龍澤寺 梅津 昌也 二等教師
令和四年 八月二二日

◎緋恩衣被着

- ③高徳寺 奥山 雅廣
令和四年 七月二六日
- ⑤洞松寺 小野 卓也
令和四年 七月二六日

◎緋衣被着

- ③高徳寺 奥山 雅廣
令和四年 三月一〇日
- ①盛興院 岸 順一
令和四年 九月三日

◎住職勤続四〇年表彰

- ③東陽寺 西山 晋隆
令和四年 四月 一日
- ②東正寺 本間 宗一
令和四年 一〇月 一日
- ②高福寺 佐藤 俊成
令和四年 一〇月 一日
- ③善秀院 高橋 信幸
令和四年 一〇月 一日

◎瑞世

- ⑨海應院 西山 良信
永平寺拝登
令和三年 一二月一三日
- 總持寺拝登
令和三年 一月二八日

◎龍雲院 對間 永修

- ②龍雲院 對間 永修
永平寺拝登
令和三年 九月 五日
- 總持寺拝登
令和三年 一月二二日

◎千眼寺 鈴木 大智

- ③千眼寺 鈴木 大智
永平寺拝登

◎積善寺 武田 和樹

- ③積善寺 武田 和樹
永平寺拝登
令和四年 五月二一日
- 總持寺拝登
令和四年 五月二一日

◎龍澤寺 梅津 昌也

- ⑤龍澤寺 梅津 昌也
永平寺拝登
令和四年 七月 二日
- 總持寺拝登
令和四年 七月 四日

◎転衣

- ③積善寺 武田 和樹
令和三年 一二月 六日
- ⑤龍澤寺 梅津 昌也
令和四年 六月 一日

◎伝法

- ⑤龍澤寺 梅津 昌也
令和四年 五月二〇日

◎立身

- ⑥正法寺 山岸 大悟
令和三年 冬前安居
- ③高徳寺 奥山 風雅
令和四年 夏前安居

◎得度

⑤ 蔵高院 三浦 慶信

令和四年 七月三十一日

① 桃源院 英 双祥

令和四年 八月 七日

◎寺族安名

② 松林寺 杉沼 則子

令和四年一〇月二五日

◎遷化(除籍日)

⑨ 常関寺 小川 博明

令和四年 五月二四日

② 全城院 渡邊 康輔

令和四年 六月三〇日

② 蓬萊院 鈴木 明宏

令和四年 九月一三日

⑩ 龍言寺 長澤 昭義

令和四年一二月一〇日

③ 瑞光寺前 鈴木 文夫

令和四年一二月二一日

◎寺族逝去(除籍日)

⑥ 正法寺 山岸 しづる

令和四年一〇月一八日

謹んでお悔やみ申し上げます。

◎教区長任命

⑩ 洞松院 西山 道雄

令和四年一二月一六日

退任の挨拶

英 元弘

平成三十年十二月十一日より、前所長鈴木桂樹老師の後任所長として宗務所を運営させて頂き、何とか大役を務め上げることができました。早いもので間もなく任期満了を迎えます。職員一同、希望を胸に懐き発進致しました。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大に伴い二年目より方向を大きく変えなければならなくなりました。会議を重ね、創意工夫しなんとか事業を前に進めることが出来ました。「withコロナ」を想定し模索していくことがこれからも求められる事と思えます。未来に向けて宗務所が果す役割は何かと問い続け、管内檀信徒の一人一人の幸せを願い、真摯に向き合い、行政を預る一人として、緊張感を持ち職務を遂行されることを願い、反省も含め関係各位の御協力、御支援に心より感謝を申し上げます。退任の言葉とします。

今期退任者氏名

所長	桃源院住職	英元弘
庶務主事	泉高院住職	山岸俊道
梅花主事	千眼寺住職	鈴木一志
人権主事	昌傳庵住職	今成幸裕
書記	慶雲寺住職	吉田光貴

お疲れ様でございました。大変お世話になりました。

編集後記

本年度の教化事業等については、コロナ禍の状況中ではありましたが、おかげさまで可能な限り何とか実施して参りましたが、本来の取組みまではまだまだ時間を要することでしょうが、工夫しながら知恵を絞り、管内ご寺院様はじめ寺族様等のご理解ご協力のもと前年度から大きく飛躍できたのではないかと思います。一連の行持を通じマスク姿のままではあります、対面して言葉を交わすことの大切さをあらためて感じました。人と人との直接の繋がりは不可欠です。さて、振り返りますと、平成から令和へと時代が変わり予期せぬ感染症に見舞われた前宗務所体制の四年間。非常に貴重な経験をさせていただきました。一山の住職という立場だけでは見ることのできない風景を眺める機会を頂き、どんな状況下でも多くの方にお声がけ頂きました。心より感謝申し上げます。ともあれまだまだ不安定な社会情勢ではあります、百尺竿頭に一步を進む「気構えにて今後も邁進して参りたいと思います。(みやび)

※宗務所玄関前は「横山測量様駐車場」になりますので、宗務所へ来所の方は宗務所駐車スペースへ駐車ください。(黄色枠)

